

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日
上場取引所 大

上場会社名 川辺株式会社
 コード番号 8123 URL <http://www.kawabe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 久和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理統括本部管理本部長兼経理部長 (氏名) 五十川 幹雄
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3352-7110

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,339	△0.4	820	31.9	873	27.1	△87	—
24年3月期第3四半期	12,387	6.8	621	113.8	687	83.2	378	150.6

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 △117百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 387百万円 (275.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.73	—
24年3月期第3四半期	20.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,677	5,442	42.9
24年3月期	11,722	5,652	48.2

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 5,442百万円 24年3月期 5,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	△0.5	830	16.4	880	12.6	△80	—	△4.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想につきましては、本日(平成25年2月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	18,610,000 株	24年3月期	18,610,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	88,854 株	24年3月期	87,111 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	18,521,897 株	24年3月期3Q	18,523,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要を背景とした緩やかな景気回復の動きが見られたものの、世界経済の減速や長期化した円高に加え、領有権問題などによる不安定要素により、景気減速の先行き不透明な状況で推移いたしました。また当第3四半期後半の12月には政権交代により、安倍新政権の金融緩和などの政策への期待から、為替相場は円安に転じ、株式相場も上昇傾向にあり、景気の改善に多少明るさも見え始めました。

当社グループを取り巻く事業環境に関しましても、生活防衛意識の高まりにより、消費者マインドは依然冷え込んでおり、厳しい状況が続いています。

この様な状況下において当社グループは、顧客第一主義を経営の根幹とし、革新的な発想に則した企業活動を通じて、市場競争力の強化と新たな事業領域の拡大を促進し、総合服飾雑貨メーカーを目指しながら、企業の継続的成長に努めてまいりました。

セグメントの業績を示しますと、次のとおりであります。

身の回り品事業

ハンカチーフにつきましては、昨年同様に節電対策需要を期待しましたが、天候不順もあって昨年ほどの効果が見られませんでした。また百貨店における、夏のクリアランスセールの不振やクリスマスシーズンのギフト需要が低調に推移した結果、前年比96.4%と大変苦戦いたしました。

スカーフ・マフラーにつきましては、春先は百貨店の店頭販売が不振で、ブランドのOEM生産も減少し苦戦しましたが、秋物商材の販売が順調に進み、年末の寒波による防寒商品の需要が増加した結果、前年比102.8%と伸長いたしました。

タオル及び、雑貨商材につきましては、タオル商材は夏場のプール関連の不調により前年比98.6%と苦戦しました。一方雑貨商材はオリジナルバッグの販売が伸長しました結果、前年比103.5%と好調に推移いたしました。

フレグランス事業

フレグランス事業は、第1四半期連結会計期間は直営店の販売が振るわずに苦戦しましたが、既存主力ブランドの積極的な販売促進と新規取扱い商品の投入により、前年比110.9%と好調に推移いたしました。

厚生年金基金脱退について

既に平成24年10月18日にリリースいたしております当社加入の東京実業厚生年金基金につきまして、将来的に財務面でのリスクの増加を回避するため、同基金から脱退することを決定し、脱退に伴う特別掛金見込額10億58百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は123億39百万円(前年同期比99.6%)、売上総利益は48億86百万円(前年同期比99.7%)となりました。

なお、営業利益は8億20百万円(前年同期比131.9%)、経常利益は8億73百万円(前年同期比127.1%)、年金基金脱退に伴う特別損失10億58百万円の計上があり、法人税等と主に特別損失の法人税等調整額の計上もあって、四半期純損失は87百万円(前年同期四半期純利益3億78百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の117億22百万円から126億77百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加、商品及び製品の増加、前払費用の減少、繰延税金資産の増加、土地の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ11億66百万円増加し、72億35百万円となりました。

これは主として、厚生年金基金脱退損失引当金の増加によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ2億10百万円減少し、54億42百万円となりました。

この結果、当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末の117億22百万円から126億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、本日（平成25年2月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	440,768	797,368
受取手形及び売掛金	3,019,552	3,009,617
商品及び製品	2,848,294	3,074,812
仕掛品	123,182	163,367
原材料及び貯蔵品	194,519	201,789
その他	464,045	763,237
貸倒引当金	△9,173	△2,649
流動資産合計	7,081,192	8,007,543
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	851,774	804,371
工具、器具及び備品（純額）	95,936	102,438
土地	842,420	965,556
その他（純額）	111,766	113,955
有形固定資産合計	1,901,898	1,986,322
無形固定資産		
のれん	167,809	126,500
その他	67,295	82,145
無形固定資産合計	235,105	208,645
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020,530	1,012,053
投資不動産（純額）	937,961	915,416
その他	548,950	551,205
貸倒引当金	△3,172	△3,310
投資その他の資産合計	2,504,269	2,475,364
固定資産合計	4,641,273	4,670,332
資産合計	11,722,465	12,677,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,458,141	2,810,128
短期借入金	1,366,000	874,000
1年内償還予定の社債	56,500	60,000
未払法人税等	191,930	157,918
賞与引当金	39,977	—
厚生年金基金脱退損失引当金	—	1,058,000
その他	642,824	641,077
流動負債合計	4,755,373	5,601,124
固定負債		
社債	110,000	170,000
長期借入金	357,500	600,000
退職給付引当金	570,329	574,717
資産除去債務	60,283	57,283
その他	215,986	232,544
固定負債合計	1,314,099	1,634,544
負債合計	6,069,473	7,235,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,140,630	1,960,312
自己株式	△11,745	△11,975
株主資本合計	5,619,952	5,439,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,039	2,801
その他の包括利益累計額合計	33,039	2,801
純資産合計	5,652,992	5,442,205
負債純資産合計	11,722,465	12,677,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,387,030	12,339,978
売上原価	7,484,336	7,453,388
売上総利益	4,902,694	4,886,589
販売費及び一般管理費	4,280,775	4,066,532
営業利益	621,919	820,056
営業外収益		
受取利息	49	72
受取配当金	14,301	16,517
投資不動産賃貸料	64,427	35,658
その他	37,087	43,549
営業外収益合計	115,864	95,797
営業外費用		
支払利息	20,617	16,238
不動産賃貸費用	28,459	25,491
その他	1,701	1,034
営業外費用合計	50,778	42,763
経常利益	687,005	873,090
特別利益		
違約金収入	36,224	—
その他	1,751	—
特別利益合計	37,976	—
特別損失		
固定資産除売却損	11,150	6,459
投資有価証券評価損	586	212
減損損失	8,908	—
移転費用	249	—
厚生年金基金脱退損失	—	1,058,000
その他	5,114	240
特別損失合計	26,010	1,064,911
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	698,971	△191,820
法人税等	320,259	△104,117
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	378,712	△87,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	378,712	△87,703

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	378,712	△87,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,257	△30,238
その他の包括利益合計	9,257	△30,238
四半期包括利益	387,969	△117,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,969	△117,941

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。